

平成 23 年 9 月 15 日

公益社団法人日本技術士会北海道本部 業務委員会主催

平成 23 年講演会のご案内

(公社) 日本技術士会 北海道本部
本部長 齊藤 有可

テーマ

『食の総合産業の確立を通じた北海道経済の展望』

講師 北海道経済連合会 政策局長 瀬尾 英生 氏

日時：平成 23 年 11 月 10 日 (木) 15:00~17:00

会場：札幌ガーデンパレスホテル 2階 丹頂
住所 北海道札幌市中央区北 1 条西 6 丁目
Tel 011-261-5311

参加のご案内

参加費：一般市民及び学生の方 (CPD 対象者を除く) 無料
技術士及び技術士補の方 会員 1,000 円、会友 1,500 円、非会員 2,000 円
その他の方 (CPD 対象者) 2,000 円

申し込み先：下記へ E メールまたは Fax にて、講演会の参加と氏名連絡先等を添えて
お申し込みください。
札幌市厚別区厚別中央 1 条 5 丁目 4-1 Docon 新札幌ビル
(公社) 日本技術士会 北海道本部 事務局 (出村、桑島)
E-mail：hkd-eng@ipej-hokkaido.jp、FAX：011-801-1618

申込締切日：平成 23 年 11 月 2 日 (水)
(但し、定員 150 名になり次第締め切りますので予めご了承ください)

講演要旨

今後北海道では、人口減少と少子高齢化が全国のペースを上回るスピードで進行することが予想され、この先対策を講じなければ地域社会の崩壊とともに、北海道の存在すら危うくなる状況も懸念されます。これを打開するためには、北海道が自ら価値を創造して外（道外・海外）に向かって打ち出していく内発型産業構造の転換に本気でチャレンジすることが重要です。そして、その選択肢のひとつに他地域と比べて優位性のある食資源を活かした食関連産業の振興が考えられます。

そこで北海道内では、「食」に関わる幅広い産業と関係機関の相互の連携協働（すなわち食クラスター活動）を盛んにして、北海道ならではの「食の総合産業」の確立に着手しました。具体的には、昨年4月に産学官金から成るオール北海道の食クラスター活動推進母体として「食クラスター連携協議体」を発足し、食の生産から販売までの一連の活動を支援していく支援体制を整備し活動をスタートしたところです。

本講演では、講師に北海道経済連合会 政策局長 瀬尾 英生 氏を迎え、北海道の食資源の付加価値向上、売れる商品の開発、道外や海外への販路拡大への取り組みを紹介し、「食」を通じた北海道発展の可能性とかけがえのない北海道づくりについて、みなさまと共に考えてみたいと思います。

講演プログラム

- 15：00 開会挨拶 (公社)日本技術士会北海道本部業務委員長 田中 輝幸
- 15：05 講演 『食の総合産業の確立を通じた北海道経済の展望』
北海道経済連合会 政策局長 瀬尾 英生 氏
- プロフィール：昭和57年4月 北海道電力株式会社入社
平成10年4月 北海道科学技術総合振興センター出向、
同クラスター推進部長
平成19年7月 北海道電力株式会社 事業推進部部長
平成21年2月 北海道経済連合会出向 政策局長
現在にいたる
- 16：40 質疑・応答
- 17：00 閉会